反社会的勢力でないことの表明・確約 に関する同意書

会員登録申込者は、以下 1. から 3. までの内容について表明し、確約するとともに、当該表明及び確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、株式会社プレサンスリアルタ（以下「当社」といいます。）との間における取引が停止され、または通知により当該取引が解約されても異議を述べないことに同意するものとします。

1. 会員登録申込者は、現在において反社会的勢力対応規程 第 2 条 に規定する次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。

(1) 属性基準

- ① 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（以下「暴力団員による不当行為防止法」という）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう）
- ② 暴力団員（暴力団員による不当行為防止法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう）
- ③ 暴力団準構成員（暴力団又は暴力団員の一定の統制の下にあって、暴力団の威力を背景に暴力的不法行為等（暴力団員による不当行為防止法第 2 条第 1 号に規定する暴力的不法行為等をいう。以下、この条において同じ）を行う恐れがある者又は暴力団若しくは暴力団員に対し資金、武器等の供給を行うなど暴力団の維持若しくは運営に協力する者のうち暴力団員以外のものをいう）
- ④ 暴力団関係企業（暴力団員が実質的にその経営に関与している企業、暴力団準構成員若しくは元暴力団員が実質的に経営する企業であって暴力団に資金提供を行うなど暴力団の維持若しくは運営に積極的に協力し、若しくは関与するもの又は業務の遂行等において積極的に暴力団を利用し暴力団の維持若しくは運営に協力している企業をいう）
- ⑤ 総会屋等（総会屋、会社ゴロ等企业等を対象に不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行う恐れがあり、市民生活の安全に脅威を与える者をいう）
- ⑥ 社会運動等標ぼうゴロ（社会運動若しくは政治活動を仮装し、又は標ぼうして、不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行う恐れがあり、市民生活の安全に脅威を与える者をいう）
- ⑦ 特殊知能暴力集団等（前各号に掲げる者以外のものであって、暴力団との関係を背景に、その威力を用い、又は暴力団と資金的なつながりを有し、構造的な不正の中核となっている集団又は個人をいう）
- ⑧ その他前各号に準ずる者

(2) 行為基準

害悪の告知、街宣、ビラ、糾弾活動、ネット告発等の示威行為等暴力的な要求行為を行う者、法律上通らない要求、過大な要求等法的な責任を超えた不当な要求を行う者、又は、各種契約に基づく取引を利用して法令や公序良俗に反する行為を目的として行う者で、代表取締役又は管理部部長が認定した者

2. 会員登録申込者は、第 1 項各号に該当する者（以下「暴力団員等」といいます）と次の各号のいずれの関係も有しないことを確約します。

(1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係

- (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係
 - (3) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係
 - (4) 暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係
 - (5) 役員又は経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有する者
3. 会員登録申込者は、自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを確約するものとします。
- (1) 暴力的な要求行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - (4) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当社の信用を毀損し、または当社の業務を妨害する行為
 - (5) その他前各号に準ずる行為
4. 会員登録申込者が、次の各号のいずれかに該当し、もしくは該当するおそれがあると当社が認めた場合には、当社は会員登録を拒絶できるものとし、会員登録申込者は異議を述べないものとします。
- (1) 第1項各号のいずれかに該当した場合
 - (2) 第2項各号の関係を有していた場合
 - (3) 前項各号のいずれかに該当する行為をした場合
 - (4) 第1項または第2項の規定に基づく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合

以上

2021年7月1日 株式会社プレサンスリアルタ 制定